小論文「課題文」〈 全学部 共通課題 〉二〇二五年度(東洋学園大学)総合型選抜(秋入試

設問

以内とします。 次の文章を読み、この文章において筆者が主張していることを二〇〇字程度に要約しなさい。 筆者の意見を踏まえてこの問題についてあなたの考えを論述しなさい。全体の字数は八○○字

(社説)アパレルの環境負荷 大量消費・廃棄を見直す時

生活に欠かせない衣服が環境に与える負荷は大きい。 アパレル企業も消費者も変わらなければならな

八・五万トンが廃棄されているとの推計がある。毎年、 アパレル産業では生産過程で大量の端材が生じる。企業が余剰在庫を廃棄するケースもある。 近年、国内では年間約四十億点の衣類が市場に供給されている。 一人当たり十数点捨てた計算になるという。 一方で、約十九億点に相当する約四十

気軽に流行を楽しめるようになった半面、低価格なだけに不必要な買い物が増えた。 中でも二〇〇〇年代に広がった「ファストファッション」が大量生産・消費に拍車をかけた。だれもが

水資源や気候変動に及ぼす影響も大きい。

トボトル約二百五十五本の製造に匹敵する。 原材料から服一着を生産するまでに消費する水は浴槽十一杯分に上る。 排出される二酸化炭素は、 ペッ

ン規制」を導入する。 海外では規制強化の動きがある。欧州連合(EU)は、売れ残った衣服の廃棄を禁止する「エコデザイ 生産拠点の途上国では、 染料による水質汚染が起きた。 低賃金などの人権問題も表面化している

日本では、政府が環境に配慮した「サステナブルファッション」の実践を呼びかけている。 供給量を減少に転じさせ、四〇年には現状のほぼ半分の二十億点にすることを目指している。

さな製品を選んだり、 長く着用できる良質な衣服を開発することは時代の要請だ。若者の間では、 再利用したりする意識が高まっている。 多少高価でも環境負荷の小

際認証を取得すれば、顧客の信頼も得られる。 情報を開示し、消費者に賢い選択を促すべきだ。第三者機関が農薬使用の有無など生産過程を審査する国 消費者の行動は企業の経営方針に影響を与える。企業もサプライチェーン (供給網) や労働環境などの

「つくる責任つかう責任」は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げているテーマの一つ

けた一歩にしていきたい。 身近な衣服への関心が高まれば、 他分野での行動変容にもつながるだろう。 資源循環型社会の構築に向

(出典:毎日新聞 東京版朝刊 二〇二四年六月十四日)